

読売新聞 きょう（3月1日）のイチ押し

1面・社会面・スポーツ面 最後のびわ湖毎日マラソンで日本新

第76回「びわ湖毎日マラソン」で、鈴木健吾選手が2時間4分56秒の日本新記録で初優勝しました。2時間4分台の記録は日本人初です。

- ★ 鈴木選手は愛媛県出身。実業団の富士通に入社した後は故障しがちな時期もありましたが、地道に体作りを続け、今大会で自己記録を5分以上も縮めて快挙を達成しました。
- ★ びわ湖毎日マラソンは、現存する国内マラソンでは最も歴史が古く、数々の名勝負が繰り広げられてきましたが、滋賀県で開催されるのは今回が最後です。来年からは大阪マラソンに統合されて行われます。
- ★ 男子マラソンの日本歴代10傑に、鈴木選手のほかに4人も入る高速レースとなりました。気象条件に恵まれたことなどが記録ラッシュを後押ししたようです。

1面・第2社会面 みずほATM障害

みずほ銀行の現金自動預け払い機（ATM）で大規模なトラブルが発生しました。現金の引き出しができなくなったほか、挿入したキャッシュカードや通帳が取り込まれたまま戻ってこないケースもありました。

- ★ 全国にある約5400台のATMのうち、一時は約3000台が停止しました。定期預金取引のデータ更新作業で障害が発生したことが原因のようです。
- ★ みずほ銀行のATMは2002年4月、2011年3月にも大規模な障害が発生。新たな基幹システムを開発し、2019年夏に完全移行しましたが、またもや大きなトラブルが起きました。

他紙と比べて

東日本大震災の発生から10年となる「3月11日」に向け、本紙は様々な企画記事を掲載していきます。本日は、被災地と被災者の変化や選択などを取り上げるシリーズ「歳月」がスタート。特集面で、宮城と福島で被災した小学6年生たちの歩みといまを描いています。